

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)特別養護老人ホーム市崎の杜

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.0
Q1 室内環境					0.40		-		3.2
1 音環境				2.6	0.15	2.5	1.00		2.5
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	0.40		
1.2 遮音				3.0	0.40	2.8	0.40		
1 開口部遮音性能				3.0	0.39	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	0.57	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.02	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.02	2.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境				3.5	0.35	2.6	1.00		3.2
2.1 室温制御				3.3	0.50	3.0	0.50		
1 室温				3.0	0.40	3.0	0.57		
2 外皮性能				3.0	0.26	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性		ユニット単位で室外機システムをわけている		4.0	0.34	-	-		
2.2 湿度制御		各ユニットの共同生活室に加湿器を設置し、湿度制御をおこなっている		5.0	0.20	1.0	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				3.0	0.25	3.0	1.00		3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光率				3.0	0.60	3.0	0.60		
2 方位別開口				-	-	1.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				3.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御				3.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				3.6	0.25	4.2	1.00		3.7
4.1 発生源対策				5.0	0.50	5.0	0.63		
1 化学汚染物質		使用建築材料はすべて4☆を採用している		5.0	1.00	5.0	1.00		
4.2 換気				3.0	0.30	3.0	0.38		
1 換気量				3.0	0.48	3.0	0.33		
2 自然換気性能				3.0	0.03	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.48	3.0	0.33		
4.3 運用管理				1.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				1.0	0.05	-	-		
2 喫煙の制御				1.0	0.95	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.2
1 機能性				3.9	0.40	4.8	1.00		4.2
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性		個室は約15㎡/1床あたりとしている		5.0	-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応				1.0	-	1.0	-		
3 バリアフリー計画		福岡市の福祉のまちづくり条例適合建築物である		4.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				4.9	0.30	4.5	0.40		
1 広さ感・景観		入居者の個室天井高さはすべてH2.5mとしている		3.0	0.05	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		休憩室及び地域交流スペースも職員用のスペースとして計画		5.0	-	-	-		
3 内装計画		認知症にやさしいデザインを軸とした計画		5.0	0.95	5.0	0.50		
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-		2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20	-	-		
3 対応性・更新性				2.2	0.30	2.7	1.00		2.3
3.1 空間のゆとり				2.4	0.30	2.4	0.50		
1 階高のゆとり				2.0	0.60	2.0	0.60		
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり				2.0	0.30	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性				2.2	0.40	-	-		
1 空調配管の更新性				2.0	0.20	-	-		
2 給排水管の更新性				2.0	0.20	-	-		
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-		
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-		
5 設備機器の更新性				1.0	0.20	-	-		
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-		

Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1	生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1	建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.20	-	-	3.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.80	3.0	0.50	-	-	3.0
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1	水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.0	0.60	-	-	3.0
	2.1 材料使用量の削減		3.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	合板 各種壁下地(手摺)	3.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		2.9	0.20	-	-	2.9
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	使用材料は有害物質を含まない材料を選定	5.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		2.0	0.70	-	-	
	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		1.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.7
1	地球温暖化への配慮		3.6	0.33	-	-	3.6
2	地域環境への配慮		2.6	0.33	-	-	2.6
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2 污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	特養エリアは適正な台数を確保。保育は車での通園を禁止	5.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		2.1	0.33	-	-	2.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	0.33	-	-	
	2 振動		3.0	0.33	-	-	
	3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		1.6	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		1.6	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	